

特別の教科 道徳 学習指導案

日 時 令和4年9月10日（土）
第2校時 9:50～10:40
対 象 第2学年
学校名 世田谷区立駒沢中学校
授業者 各担任
会 場 3階2学年教室

1 主題名 「強い意志と希望をもって目標の実現を目指す」

(内容項目：A－4 「希望と勇気、克己と強い意志」)

2 資料名 「夢の力 深めたいむ」 出典「きみがいちばんひかるとき」（光村図書）

3 主題設定の理由

(1)ねらいとする価値観について

夢や目標をもち、それらの達成に向け、希望と強い意志をもって生活する態度を育てる内容項目である。自分を見つめ、夢や希望をもって生活することが、自己の伸長や達成感、成就感につながる。これらの経験は、いずれ自己肯定感や社会貢献につながることである。

中学生時代は得てして目標を失い、夢や希望をもちにくく、自分と向き合うことを恐れがちである。目標の実現に向かって遭遇したり、困難に屈せずに最後までやり抜く強い意志と態度が、人生を切り開いていくために大切であることを理解させ、どんな状況であっても夢と希望をもって、前向きに生活することが未来につながる糧になることを伝えたい。また明確な目標と計画を立て、夢や目標に向け、希望と強い意志をもって、生きていく実践意欲と態度を育てたい。

(2)教材について

前時において、困難を乗り越えながら、次々に夢をかなえていった二条実穂選手の文章を通して、「『夢の力』とはどんな力か。」「夢をもつことは、人生を、どう変えていくか。」について学んでいる。本時は、「目標を達成するために大切なことは何か」を考えさせることをねらいとし、実行計画を立てる活動を行う。困難に直面したときにどのように解決し、目標を達成するのか具体的に計画を立てる活動を通して、目標を達成するために大切なことに気づかせ、自己実現を目指す。

(3)生徒の実態について

生徒たちは、「目標を立てる」ということをこれまで数多く経験している。その中で、目標を達成し、大きく成長したと実感できている生徒もいれば、目標を立てるだけで終わってしまい、目標を達成できなかった生徒もいる。またこの時期は、夢と現実の違いや他者からの評価で自分の目標を見失い、自分の考えに不安を感じる時期もある。そのような状況の中で、日常生活に目を向けさせ、大きな夢の達成のために、小さな目標と計画を立て、実行することの大切さを「クラス目標を達成するには」というテーマで体験的に学ばせたい。そして、その積み重ねが未來の自分につながることを感じさせ、日々前向きに生活する生徒を育てたい。

4 年間指導計画における位置づけ

上級学校訪問を終え、進路についてより明確に考えるようになる時期である。また 10 月に行われる職業 days を通して将来の夢や目標をもつきっかけにもある。そのような中で、大きな夢や目標を達成するためには、小さな目標を立て、実行することの大切さを体験的に学ばせる時期として適切な題材である。

5 本 時

(1) 目 標

学級目標を達成するために、実行計画シートを作成することで、自分の学校生活に目を向けさせ、前向きに生活しようとする態度を育てたい。

(2) 話し合い活動での工夫（感染症予防も含む）

感染症対策としてマスクを着用して話し合い活動をさせる。話し合いは基本 4 人班とし、少人数で一人一人が意見を出しやすくする。話し合いの際は、ホワイトボード等を活用し、グループごとに発表させ、意見をクラスで共有できるようにする。

(3) 展 開

時間	主な学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	◇教師の支援・ 指導上の留意点 ◆評価の観点
導入 5 分	<ul style="list-style-type: none">・前時の振り返り○「夢の力」とはどんな力ですか。 ○夢をもつことは、人生をどう変えていきますか。	<ul style="list-style-type: none">・今の自分よりも高いところを目指そうと思う力。・失敗しても、がんばりたいと思える力。・くじけずに前に進むことができる。・「生きているっていいな。」と思える。	<p>◇挙がった意見から、前時の学びを再確認する。</p>
展開 40 分	<ul style="list-style-type: none">○今日は学級目標を達成するために、「WOOP シート」を使って、計画を立てましょう。・「WOOP の法則」について説明する。 ○学級目標は、今どれくらい達成できていると思いますか。【手順 1 : Wish (願望)】 学級目標を「Wish」に書き込む。クラス全体で、学級目標を立てた時の思いや願いを振り返る。	<ul style="list-style-type: none">・できている部分とできない部分がある。・全然達成できていない。・あまり意識しないまま、1 学期を過ごしてしまった。	<p>◇注意点をおさえながら、手順に沿って、WOOP シートを作成する。</p>

	<p>○目標を達成したとき、どんなクラスになっていると思いますか。</p> <p>【手順2：Outcome（成果）】 Wishの実現したとき、どのような姿（結果）であるかを考える。</p> <p>○達成するまでに、どんな問題等が起こると思いますか。考えてみましょう。</p> <p>【手順3：Obstacle】 目標達成の障害になりそうなことを考える。 (徹底的に洗い出す)</p> <p>○その問題点にどのように対応することができますか。</p> <p>【手順4：Plan】 障害が起ったときに、どのように解決するかを考える。</p> <p>○「WOOPの法則」を使って実行計画を立ててみてどうでしたか。</p> <p>○日常の目標を達成するためにも実践することができます。大切なことは何でしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居心地のいいクラス ・仲の良いクラス ・クラスで意見の食い違いが起きたり、トラブルが発生したりする。 ・その都度、クラスみんなで話し合って解決する。 ・これまでこのように計画を立てたことがなかった。 ・障害に対しての計画を立てると目標が達成できるよう気がした。 ・実際に達成までの計画を立てること。 ・自分の現状を踏まえて計画を立てること。 ・取り組みやすい順番を考えること 	<p><対話的な学び></p> <p>◇4人班で話し合わせ、班ごとに発表し、意見を共有させる。</p> <p>◇目標に対する計画が目標にならないように現状を踏まえて計画を立てるよう指導する。</p> <p>◇これさえ解決できれば、目標達成が実現できることを考えさせる。</p> <p>◆学級目標をどのように行動することで目標を達成できるか、話し合いを通して、実行計画シートの作成に意欲的に取り組めている。</p> <p>◇このような実行計画が、自分の目標を達成するためにも実践することができることを理解させる。</p>
終末 5分	<p>本時の振り返り (振り返りシート)</p> <p>○日常から目標を達成するために大切にしなければならないことは何だろう。</p>		<p><主体的な学び></p> <p>◇日頃から目標を達成するために、自分が大切にしたいことについて考えさせる。</p> <p>◆目標を達成するために大切にすることについて、考えを深めている。</p>

(4) 授業観察の視点

- ・設定した目標において、どのように行動することで目標を達成できるかについて考え、クラスの話し合いを通して、実行計画シートの作成に意欲的に取り組めているか。
- ・他者の考え方から目標を達成するために大切にしていかなければならないことについて、考えを深めているか。

【WOOP の法則】

アメリカの心理学者ガブリエル・エッティンゲン博士が考案した考え方。ネガティブな部分に焦点を当てて、具体的な計画を立てていく方法。実現可能性の高い、現実的な計画を立てることにこだわる。

- W・・・願望・ありたい姿（実現を見込めること）
- O・・・ありたい姿を実現したときの結果（モチベーションとなる姿）
- O・・・W i s h の実現に向けて想定できる障害
- P・・・障害を乗り越えるための計画

【学級目標を例にしたもの】

- W・・・全員が居心地のいいクラスにしたい
- O・・・安心感があるので、どんどん挑戦ができるようになる
- O・・・クラスで意見の食い違いが起きたり、トラブルが発生する
- P・・・先生への報告と同時に、話し合って解決を試みる

参考資料 : heart---blog.com

月
日

26 夢の力
深めたいむ

2年 組 番

名前

考え方

目標を達成するために大切なことについて、考えよう。

1

WOOP 「目標を達成するための実行計画」

W ish (願望) 願望・ありたい姿(実現を見込めるこ)	_____
O utcome (結果) ありたい姿を実現したときの結果 (モチベーションとなる姿)	_____
O bstacle (障害) W i s h の実現に向けて想定できる障害	_____
P lan (計画) 障害を乗り越えるための計画	_____

2 目標を達成するために、日常から大切にしていかなければならないことは、何だろう。